

観光受け入れ態勢強化 クルーズ入港を機に地域資源PR

佐伯区

3月24日、五日市埠頭に大型クルーズ客船「タイー・エリザベス」が入港するのに合わせて、佐伯区で観光客の受け入れ態勢の整備が進んでいる。見学者を含めて1万〜1万5000人が予想される埠頭への来場者を、区内の各地へ呼び込む。

佐伯区役所は同日、埠頭の見学者をコイン通り商店街、楽々園センター商店街、八幡本通り商店街へ送迎するシャトルバスを10台以上運行する。地域参加型の「佐伯区おもてなし隊」を結成し、同日が第1回目の活動となる。現在、個人88人、34の学校や団体が参加。コバルコ建機やマルニ木工、ウエル・ユーカーン、金融機関など地元10社も協力する。美化活動や花のプランターで3つの商店街などを彩り、のぼりや街路パナーで盛り上げる。埠頭や商店街に観光案内所を設置。ボランティア案内や着物の着付け、折り紙、けん玉体験なども予定。埠頭では物販や多様なイベントが開かれる。若林健祐区長は「見物の日本人を含めて多くの人に足を運んでもらい、これをきっかけに一層、企業や

団体、学校、住民との一体的な地域活性化を進めたい」としている。

コイン通りでは、佐伯区観光物産組合が、同区全域の特産を集めた「夢市場」を2月1日にオープン。同船の寄港時は通訳ボランティアガイドを常駐させる。乗客に英国人が多いため、造幣局広島支局で英国連邦の記念貨幣を特別展示。貨幣製造にちなんだ「金持神」をテーマとした街づくりを進めており、開運モニュメント43体の設置や金持ブランド商品の開発などを実施済みだ。楽々園センター商店街では、広島工業大の茶道部（武家茶道）と協力した体験会などを行う。八幡本通り商店街では八幡川酒造の試飲や餅つき体験、忍者や侍姿でのもてなし、五日市高と美鈴が丘高の書道部による体験会を行う。

同区は2011年から、歴史的に平清盛と親交が深かった「佐伯景弘」をテーマとする、街おこしにも取り組んできた。14、15年に「景弘まつり」を開いたほか、マダムジョイ楽々園店で歴史パネル展示を定期開催。3月13日には、佐伯区図書館で講演会を開く。

会頭日誌

▽2月1日(月)午前11時〜大阪商工会

品質を誇る酒都・西条の酒



広島・西条 亀齢酒造株式会社

議所の佐藤茂雄前会頭お別れの会。

▽2月2日(火)午前11時半〜広島・愛媛交流会、御手洗地区の視察。

▽2月3日(水)午前10時半〜県空港港部の西尾保之部長来訪。11時〜広島空港ビルディングの山本健一社長ほか来訪。午後2時〜障害者雇用の拡大にかかわる広島労働局長と県商工労働局長からの要請。

▽2月6日(土)午前10時15分〜ひろしまフッドスタジアム冬の陣オープンングセレモニー。午後4時半〜広島大体育会同窓会の創立50周年記念総会・懇親会。

▽2月7日(日)午後5時50分〜日本バーテング協会の第43回全国バーテング・技能競技中国統括本部大会の表彰式・懇親会。

全国健康保険協会(協会けんぽ)指定施設
各健康保険組合・各共済組合指定施設

医療法人(社団)ヤマナ会

広島生活習慣病 がん健診センター

お問い合わせ tel.082-224-6661
銀山町電停前 広島マツダビル4階

FACE of THIS WEEK

今週の表紙

おおこうち たけし氏【プロフィール】

アクアライン社長。静岡県立磐田農業高卒業。1994年、広島市で水回り修理業を個人創業し、95年にアクアラインを設立。2000年に株式会社に変更。1973年6月14日生まれ、静岡県出身。

2015年8月31日、東証マザーズに上場し、家庭向け水回りの緊急修理業界では初の上場企業となった。「水道屋本舗」の名称でサービスを展開し、現在、売り上げ(15年2月期連結33億円)は全国3番手。上場を機に事業規模拡大のスピードを加速させ、業界トップを目指す。「8年前から目標としていた上場を果たせた安堵感は大きい。ですが、あくまでもこれはゴールではなく、次の目標への通過点。上場初日に次の目標を定めるのが私の仕事だと思い、東証1部昇格を掲げました。そのため上場セレモニーでは鐘をあえて鳴らさず、その時のために取ってあります」。水道修理業をサービス業と捉え、FCや業務委託ではなく全て正社員のスタッフが対応。1件ごとに清潔な靴下にはき替え、作業服にネクタイを締めるなど身だしなみにも気を使っている。今後は約180人いるスタッフを250人以上とし、サービス体制の充実を図るほか、水回りのリフォームなどに力を入れる。「1部上場の目安となる、売り上げ50億円、純利益5億円が当面の目標。温水洗浄便座や技術力など、日本のトイレ環境の良さは世界に誇れるものです。海外市場にも挑戦したい」